

2 個別事業評価調査

団体名:与謝野町

事業名		廃棄物処理施設整備事業					
事業の概要		旧3町にはそれぞれに最終処分場があったが、トラブルを未然に防止することで、施設管理において十分な体制を整えるものである。					
		・岩滝・野田川最終処分場調整槽水中攪拌機整備工事 埋立処分地からの浸出汚水の水質・水量の変動を抑制するための調整池にある水中攪拌装置が、経年劣化等により機能低下しているものがあり取替工事を行う。					
		・岩滝最終処分場焼却炉改修工事 町内3施設のうち2施設に焼却炉が設置されているが、加悦の処理施設の焼却炉は故障が多く、安定稼働させることができない状態が続いており、岩滝の処理施設の焼却炉にたよっている状況である。その岩滝の処理施設の焼却炉も、投入機部分の故障が頻発しており、平成18年度以降毎年同様の修繕を重ねている状況であり、投入機部分の改修工事を行う。					
		事業期間	平成22年7月23日～平成22年10月12日				
		総事業費	10,130	本年度事業費	10,130	交付金交付額	2,864
事業評価	事業の必要性	当町には合併前の旧3町にはそれぞれに最終処分場があったが、一部の設備では経年劣化が進んでおり、それによるトラブルを未然に防止することで、施設管理において十分な体制を整えるものである。					
	事業の有効性	廃棄物処理施設は住民も多く利用する施設であり、今回の整備により利用する住民の安全性・利便性の向上に繋がる。					
	事業の効率性	施設の老朽化に伴い、適切な時期に整備を行うことで、施設の長寿命化を図ることができる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 廃棄物処理施設は、住民の利用も多く、経年劣化等による設備不具合で業務が停止した場合の影響は計り知れず、こういった事態を避けることは必須であり、今回の整備を行うことで、利用者の安心に繋がる。					
		3 リーディング・モデル成果 岩滝・野田川最終処分場調整槽水中攪拌機と岩滝最終処分場の焼却炉の改修を行うことにより、環境衛生面や安全面の向上に繋がる。					
4 広域的波及成果 岩滝・野田川最終処分場調整槽水中攪拌機の改修により周辺地域の環境衛生面での不安が解消する。 また、岩滝最終処分場の焼却炉は町内で唯一の安定稼働している焼却設備であるので、住民の安心を実現することができる。							
5 行財政改革に資する成果 施設整備を適切な時期に行うことで、長寿命化を図る。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。